

(別添書類2)

平成28年度文化財建造物主任技術者講習会(普通コース・前期)

様式3「文化財建造物に係る業務歴」の記入要領

1. 氏名等

氏名, ふりがな, 生年月日を記入してください。

2. 文化財建造物に係る業務に従事した期間

業務歴の審査を希望する期間を記してください。期間は年月日(H〇〇. 〇〇. 〇〇の形式)で記し, 経験年数を「年, 箇月」で記入してください。

経験月数は, 自動計算されます。

3. 業務歴の一覧表

文化財建造物に係る全ての業務を記してください。欄が不足する場合は適宜追加してください。

- ①**業務名**: 業務名称が不定の場合は, 業務内容がわかるよう具体的に記してください。
- ②**文化財の種別**: 文化財建造物の種別を記してください。(例: 国宝, 重要文化財, 都道府県指定有形文化財, 市町村指定有形文化財, 史跡・名勝, 登録有形文化財など)
- ③**文化財の所在地**: 都道府県名, 市町村名を記してください。
- ④**文化財の構造・形式**: 文化財の構造, 規模等の概要がわかるように記してください。
- ⑤**保存修理工事の内容**: 保存修理工事の内容を記してください(例: 解体修理, 半解体修理, 屋根葺替(屋根葺材), 部分修理, 塗装修理など)。複数棟にわたる場合は棟毎に記してください。
- ⑥**業務内容**: 当該業務における業務の内容を記してください(例: 修理設計, 設計監理, 修理監理, 文化財調査, 〇〇計画策定, 耐震診断など)。文化財保護行政実務(技術指導など)に従事した期間についても記してください。
- ⑦**業務における立場**: 当該業務において果たした役割を記すこと(例: 工事主任, 工事主任補佐, 補助員など)。文化財保護行政実務においては担当係などを記してください。
- ⑧**現場常駐**: 保存修理工事の現場に, 専ら常駐して携わった業務に「〇」を入力してください。
- ⑨**業務期間**: 当該業務の開始と終了の年月を記し, 期間の長さを月数で記してください。
- ⑩**期間における業務専念率**: 同期間に併行して複数の業務を行った場合は, 当該業務に専念した割合を百分率で示し, 専念月数を計算してください。
- ⑪**専念月数**: 集計欄の「月数(専念)」, 「年数(専念)」とともに自動計算されます。